

歴史と自然 人が共存するときわの島・伊是名村

沖縄県 伊是名村



1日3回公演のハードスケジュールを見事にこなし、総入場者数3,150人を動員した感動のラストエンディング。



沖縄本島北部に位置し、紺碧の海に浮かぶハブのいない伊是名諸島。(手前から屋那覇島(無人島)、伊是名島、貝志川島(無人島))。



浦添市でだこ大ホールへの入口は長蛇の列。郷友会をはじめ本島在住のファンが開場とともにどっと押し寄せた。(イメージキャラクターは村で商標登録済)

事例の概要

- 伊是名村は、琉球王国第二尚氏始祖尚円王の生誕地として知られ、王家の遺産や古き琉球のまち並みが多く残っている。こうした島の歴史、人物をブランドとしてとらえた取り組みにより、文化や産業振興などの各分野における地域活性化を図っている。
- 主な活動内容として琉球国第二王統の生誕の島としての歴史背景を元に子どもから大人の村民総勢100人の出演者で村内外で上演している村民劇「史劇 尚円王～松金がゆく～」は、地域が一体となった住民参加型の取り組みであり、住民が島の

歴史・文化等を再認識するとともに、島に対し「自信」と「誇り」を持ち、今後の過疎地域の活性化につながることを期待される。

- その他、いぜな尚円王まつり、尚円王の里観光大使を認証し観光の日の制定による交流促進や伊是名尚円太鼓などの文化活動などを実施。また、旅館や民泊等を活用して1988年から年1回開催しているトライアスロンは、今年で21回目を迎え、今では村内外に約5千万円の経済効果をもたらしている。

評価のポイント

降臨伝説でいられる伊是名村は、琉球国王第二尚氏始祖尚円王の生誕地として知られ、王家の遺産や古き琉球のまち並みが多く残っている。こうした歴史背景や地域特性を生かした取り組みにより、「歴史の島」、「文化の島」としての知名度を確立し、文化や産業振興などの各分野における地域活性化を図っている。

琉球国第二王統の生誕の島としての歴史背景を元に子どもから大人の村民総勢100人の出演者で村内外で上演している「村民劇」は、島の方言や民族芸能を取り入れることにより、村民が一丸となって取り組んでいる。また、「いぜな尚円王まつり」は、内外の交流の場として、地域活性化に貢献している。その他にも、旅館や民泊を活用して、1988年からトライアスロンを年1回開催しており、今年で21

回目を迎える。

美しい海岸に恵まれながら、沖縄本島のかなり北部の小港から渡る離島ということで不利な位置にあり、観光も今ひとつであった知名度のない島が、奮闘を奮って村民劇を仕上げたという感じである。また、この村民劇により、島出身者との絆も深まっており、今年度は那覇講演も計画している。今後は、尚円王まつりにおいても、劇のシーンを取り入れるなどの工夫をして、外部の人にも魅力あるものに改善していくこととされている。今回受賞することによってその存在が広く伝われば知名度が上がり、恵まれた自然を有するだけに、経済的な活性化もおおいに期待できる。本事例においては、このような点が評価された。



国指定重要文化財「銘苅家住宅」。尚円王の叔父が王朝時代に代々、島の地頭職を務めた旧家。重厚な建築様式を今に伝える。



毎年旧6月に行われる「ウンナー」と呼ばれる伊是名島独特の豊年祭りは大いに盛り上がる。(劇のシーンにも取り入れている。)

沖縄県 伊是名村 (いぜなそん)



昭35年	昭45年	平成7年	平成12年	平成17年
5,037	3,279	1,895	1,897	1,762

H17/S35	H17/S45	H12/H7	H17/H12
△65.0	△46.3	0.1	△7.1

高齢者比率	28.0%
若年者比率	7.3%

交通のご案内

自動車 那覇空港から今帰仁村運天港まで車・タクシーで2
[又はバス] 時間約 那覇空港→那覇バスターミナル→名護バスターミナル
・船 船 那覇空港→那覇バスターミナル→名護バスターミナル
(バス2時間30分～2時間45分(高速バスの場合、
1時間15分))
名護バスターミナル→今帰仁村運天港(タクシー
20～30分)
今帰仁村運天港から伊是名村仲田港
2便/日(フェリー ニューいぜな)約55分(村有船)
空路 那覇空港から伊是名島までチャーター便
エアドolphin(株)
<http://www.air-dolphin.com/reserving.html>

団体連絡先

沖縄県伊是名村
〒905-0695
沖縄県島尻郡伊是名村字仲田1203
番地
TEL.0980-45-2001 (代表)
<http://www.ne.jp/asahi/shimanokaze/izen/>